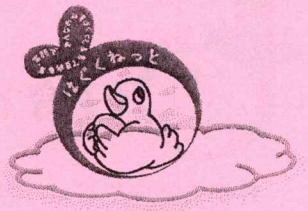
2024.6.1　こども～る鶴間発行



大和市 つどいの広場事業

こども～る鶴間通信【No.201】

Insta　Mail　URL

☆子育て親子の交流つどいの広場の提供
☆子育てに関する相談・援助
☆地域の子育て関連情報の提供
☆講習会

利用対象者
★乳幼児：0～3歳児(誕生日から最初の3/31まで）と親（保護者）
★妊婦さん

《運営》
認定NPO法人
地域家族しんちゃんハウス

《お問い合せ》
電話：090-3685-2288(こども～るフォン)
場所：イオンモール大和４Ｆ（ライトコート側）

6月の予定

日	月	火	水	木	金	土
前半　後半	前半　後半	前半　後半	前半　後半	前半　後半	前半　後半	前半　後半
保・保　保・経	栄：栄養士 看：看護師 子：子育てアドバイザー 経：子育て経験者 保：保育士 支：子育て支援員	☆こども～る鶴間のライトはなぜ暗くしてあるかご存じですか？ 赤ちゃんの脳活動に最適にしてあるからです。 大人は明るいのが良いかもしれませんが、赤ちゃんは違います。 光の刺激が強かったり多かったりすると興奮してしまうのです。				看・保　保・子
30						1 育
保・保　保・経	保・保　保・支	保・保　栄・経	保・保　保・経	保・保　保・経	保・保　保・経	保・看　栄・経
2	3	4	5 保健師 B(14：00～16:00)	6 保健師 A(13:35～16:35)	7	8
保・保　看・経	保・保　保・経	保・教　栄・経	保・保　保・経	保・保　栄・子	保・保　子・経	保・保　保・経
9	10 助産師による おっぱい教室 (14:00～15:00)	11	12 保育士	13 育	14 育	15
保・保　保・経	保・保　保・経	保・教　保・保	保・保　栄・経	保・保　保・子	保・保　保・経	保・保　保・支
16	17	18	19 保育士	20 育	21	22
保・保　保・経	保・保　栄・経	保・教　子・支	保・保　栄・経	保・保　保・経	保・教　保・経	保・保　保・経
23	24	25 育	26 遊び 保育士/ボランティア による手遊び (10:30～11:00)	27 よみ	28	29

保健師による育児相談
A(13:35～16:35)
B(14:00～16:00)

保育士による
育児相談
(14：00～16:25)

助産師による
おっぱい教室
(14:00～15:00)

管理栄養士による
栄養相談
(14：05～17:45)

育
発育相談
(14:00～17:45)

遊び
保育士/ボランティア
による手遊び
(10:30～11:00)

よみ
絵本読み聞かせ
a(10:30～10:45)
b(14:30～14:45)

時間表♪

①10:15～11:45　②11:55～13:25
③13:35～15:05　④15:15～16:25
⑤16:35～17:45

人数の制限もありません♪
（状況により制限の場合もあります）

世の中に子育てほど尊い仕事はありません。私達の未来を創る事であり、未来の幸せを可能にする仕事だから。

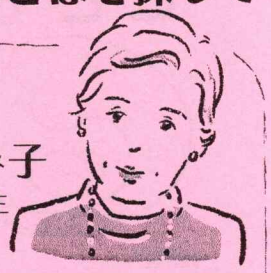
～笑顔ではぐくねっと～４月のスキルアップ講座より

『子育て罰』に替わる『子育て』の本意を表現することばを探して

毎年若林先生には「ゆるす」というテーマでスキルアップ講座をしていただいていますが、今回は若林先生の所属されるカウンセラーズグループが毎月開催している会で討議されたテーマについて、お話いただきました。

講師紹介

わかばやし
若林 ふみ子 先生



生活臨床心理
カウンセリングセンター代表。仙崎武文教大学名誉教授のもとでカウンセリングを学び、欧米の研修に参加。塾主宰、神奈川県福祉推進員、文教大学学生相談室カウンセラーを経て、現在もセミナー講師、カウンセラー、文筆家として活躍。

「子育て罰」と言うことばを聞いたことはありますか？

2021 年に出版された『子育て罰「親子に冷たい日本」を変えるには』という本のタイトルからで、本来言いたかった親子に冷たい…の方でなく「子育て罰」という言葉がショッキングな言葉として一人歩きしたようだ。この「子育て罰」という言葉だけ聞くと、まるで子育てに罰があるように思える。「罰」をどういう意味でとらえるのか。日本の子育てする人としない人の間に収入格差がある事、また子育てしながら働く母親と子供を持たない非母親との間に生じる賃金はもとより、キャリアややりがいにおける格差。これは「母親ペナルティ」とも呼ばれている。こうしたことが「罰」という言葉につなげるイメージが危険であり、その悪いイメージによって子育てが負のイメージとなることが何より子育てへの積極的関わりを遠ざけつつある。

子育ての持つ役割とは、それを的確に表す言葉とは

多くの母親は子育ての最中に育て方や手順など、過度に責任を感じることがあり、それは「罪」の意識を負いかねない。「私がもっとこうしておけば風邪をひかなかった」「もっと工夫すれば好き嫌いしないのかな」など、日常の子育ての中で母親が主体で行われる子育ては今の時代も決して少なくない。むしろ同じ親であっても父親は「手伝っている」という意識を持っていることも少なくない。子育ては未だ、母親や女性の役割という認識は世の中の多くを占めていると言える。まずはそこを疑うことが子育てを明確に表す言葉を探しだすヒントになると考える。「子育て〇〇」にハマる言葉には責任や使命感などを感じるものが多く、楽しむまでは行かなくとも生き甲斐などに類似する言葉が多く見られた。親たちは自分の人生を賭して、日々一生懸命を心がけて育てていることがうかがえる。

- 子育ての迷路
- 子育てバイアス
- 子育ての壁
- 子育てキュービック
- 子育て道
- 子育て禍福など

母親中心の子育てから責任の居場所を幅広く持つことで生まれる明るい未来

一生懸命子育てをするというスタンスから「難しい」「大変」といった慎重になりすぎるが故のネガティブな印象になっているのではないか。自分一人でその責任を背負おうとするとそうなるが、視野を広げて地域、国、世界規模で子育てを捉えてみてはどうだろうか。さらに言えば子育てを家内安全という規模に留まらず、国の発展や世界平和が叶わなければ可能でないものと言っても過言ではない。戦争をしながら豊かな子育てはできない。すなわち「子育て」は個人的な営みではなく、国や世界の営みとして大変重要な事なのだ。

「子育て」を尊いものとして個人や家庭の課題だけにせず、もっと大きな目でとらえる

人間の脳の中に「母性」「父性」が存在するとともに「親性能」というものも存在することが判明している。この「親性能」は親だけでなく誰にでもあり、環境や役割意識によって発達することも判明している。このことは「子育て」が親だけでなく、多くの人と接することで多様・多彩な感性や知性を子が習得し育つことが望める事を表している。また、子だけでなく大人側の脳の発展も意味しているのである。また、親以外も育児参加する事で人間社会に「ゆとり」が生まれ、世界平和へとつながっていくのである。結論として、「子育て」は個人や家庭の課題だけでなく、地域・国・世界の相互扶助という「平和」無くしてはならないという事である。平和の尊さこそが「子育て」の核となるのである。

取材・文・イラスト／フジコ